

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	数学	科目	数学C	学年	第3学年	類型	Ⅱ型選択
単位数	1 単位	教科書	新編 数学C（数研出版）				
補助教材	ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C（数研出版）						

学習目標	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を培うとともに、それらを活用する態度を養います。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1章 平面上のベクトル	平面ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	中間考査
	5月	第1節 ベクトルとその演算		
	6月	第2節 ベクトルと平面図形	空間ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。	期末考査
	7月	第2章 空間のベクトル 総合演習		
	7月	問題演習等		
2 学期	8月			
	9月			
	10月			中間考査
	11月			
	12月			期末考査
3 学期	1月			学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	日々の授業において自分の学習目標を設定して努力することが大切です。単に公式を覚えて解くものではありません。なぜこのような解法になるのか、自分の力で説明できるかなど、数学的な考え方を身に付けることが大切です。日常生活の中で起こる数学的な考え方に興味を持ち、その法則性について考えながら学習に取り組んでみましょう。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などの知識とともに、事象を数学的に表現・処理し、推論する技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行います。平常点は、提出物（課題、ノート等）・小テスト・授業に取り組む姿勢を考慮して評価します。		